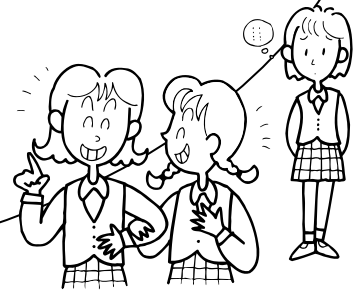


いじめを発見するために

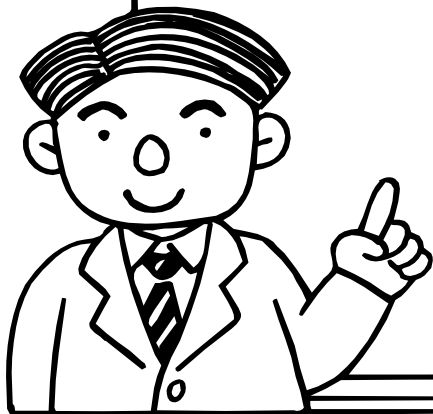
(いじめはどの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こりうることを意識しましょう)

学校で見られるいじめのサイン

- 理由もなく、1人で朝早く登校する。登校が始業ぎりぎりになる。
- 欠席、遅刻、早退が増える。放課後、急いで一人で帰宅する。
- 用もなく職員室に頻繁に来る。職員室の前をうろうろしている。
- 教職員を避ける。
- 保健室に出入りすることが多くなる。
- 教室移動のときなど、一人で教室に入ってくる。
- 授業中発言をしたら、理由もなく笑われる。
- 昼食や班学習のとき、席を離れている。
- 清掃時、椅子や机がぽつんと残る。
- 声をかけるとびくっとする。返事がない。口数が少なくなる。
- イライラして反抗的になったり、攻撃的になったりする。
- 刃物など危険なものを持つ。
- 紛失物が多くなる。



上記のようないじめのサインを、子どもたちが発していないか
気をつけて見ていきます。↓



このようなサインが見られれば、子どもに声をかけ、
困っていることがないかを尋ねるなど、注意深く見守る
とともに、**一人で抱え込まず**、() 先生(学
年主任・生徒指導担当等)に相談します。

一人で抱え込まず、組織的な対応を行うためには、普
段から何でも相談できる関係づくりが大切です。

「いじめ防止対策委員会」

- ・ 対応の検討
- ・ 役割分担

いじめを受けた子どもやその保護
者の心情に寄り添った校内の対
応。家庭や関係機関等との連携。

